

# 経営と健康



## ネット社会の犯罪と特殊詐欺

講談師 一龍齋貞花

「オレはだまされないよ、大丈夫」と、言っている人が

「オレだけどちよつと風邪を引いて声  
が変だけど、オレだよ」と、お金を入  
れたかばんを置き忘れたのというオレオ  
レ詐欺は相変わらずあとを断たず。

固定電話だけでなく携帯電話、パソ  
コン、SNSに警察官や役所の職員、  
銀行員を名乗り、お年寄りから保険金  
還付詐欺、最近はどうんどんエスケー  
トしてネット社会の犯罪、特殊詐欺が  
横行。SNSを使って有名経済評論家  
を名乗って投資詐欺。

「経済に詳しいあの先生の勧めだか  
ら」と、すっかり信用し金をつぎ込む。

甘い言葉ですっかりその気にさせて貢  
がせるロマンス詐欺。だまされるのは独

身者。ことにパートナーを求めている者  
は会ってもいないのに信用して要望に応  
えて金を振り込む。気が付いた時には

老後の貯え、虎の子がすつからかんと悲  
劇。

かつて「お宅のご主人が女性に暴行  
して取り押さえました。今なら表沙汰  
にならない示談金で済みます」

「主人と代わって下さい」

「妻に申し訳ないと憔悴しきって、電  
話に出られるどころじゃありません」

うちの亭主ならやりかねないと金を  
振り込んだ事件もありました。普段の  
行いが大切ですね。笑い話じゃすませ  
れませんよ。

息子がいるところへ、「オレだけど  
と掛かってくるのは稀なこと。私のこ

ろへ、「還付金があるので銀行通帳の番  
号を、保険係の〇〇です」

「誰の通帳ですか」と問うと、「一龍  
齋貞花の通帳です」役所の保険が芸名  
な訳がない、なんとかして警察に報せた  
いと、「お名前と電話番号を教えてください。  
お報せします」と言ったら電話を切  
られた。そばで家内がハラハラしていた。

スマートフォン、パソコン、ダイレク  
トメールからLINEでのやり取りに  
移行するパターンも多くなっている。

ネットの進歩によって過去にない犯罪が  
増えている。規制が追い付かない。勿論  
こうしたパソコンはじめネットの功績は  
大であり、電材関係にとって犯罪云々  
を書くのは申し訳ありませんが、いかに

気を付けるか、悪用されないことを願っ  
ています。

ルフィグループによる犯罪

高賃金のアルバイト、いい仕事がある  
と甘い言葉にのせられて、多くは若者  
が実行犯に。

どこそこの家の家族構成、どこに金  
があるか、地下だ、二階の金庫に現金  
が何百万、何千万あるからとどうやっ  
て個人の情報を把握していたのか。そ  
れも外国の犯罪収容所から指示してい  
たルフィグループの犯罪。

時代劇の捕物帳、或いは鬼平犯科帳  
を見ていると必ずといってよいほど、大  
店に手引きする者をもぐり込ませてい

るが、ルフィ一味はどうやって情報をつかんでいたのだろう。矢張り国内に引きずる者がいるのか。

どうもおかしいと途中で気が付き、やめようとする、家族のこと、運転免許証、保険証など提出させられていて、家族に危険が及ぶがいかとおどされ、加担し殺人まで犯してしまふ。

逮捕されるのは実行犯のみで、首魁はなかなか捕まらない。ルフィの親玉にたどり着き逮捕出来たが、これまでの年月、被害はどれくらいだろう。

その後も外国から指令による犯罪が、ネットにより国内どころか、外国からだけに逮捕がむづかしい。

SNSによって選挙も左右

SNSによって選挙まで大きな影響が出ている。

偽情報と思われる誹謗中傷が拡散され、二馬力もあり野次馬根性もあったのか、街頭演説に当初聴取者わずか数人だったものが、最後千人近くにふくれ上り、選挙に大きな影響を及ぼしたといわれる兵庫県知事選挙。

東京都知事選でも、結果に影響しな

かったものの、巧みに使用した候補者が上位の得票を獲得した。

どんなに悪評を流しても、自由な選挙だからと罪にならない。

デジタル民主主義は、アメリカ大統領選でも民主党のビル・クリントンとアル・ゴアが、「情報スーパーハイウェイ」構想で全米の総てのパソコンを光ケーブルなどによる高速通信回線で結ぶアイデアで現職のジョージ・ブッシュを破った選挙。勿論犯罪ではないが、大きく世

交代を感じさせる大統領選挙だったという。(東京新聞、東京大学教授宇野重規先生コラムより)

高齢のデジタルに弱い政治家は、ネットを巧みに駆使する秘書を持たないと、有力議員といえど苦戦することになりかねない。アナログ派の私などどんどん置いていかれています。

被害者が叩かれる悲哀

暴走車によって最愛の妻子を亡くした夫が「金が欲しいから訴えているんだろう」に便乗してどんどん叩かれ、被害をこうむった者があたかも犯罪者のように叩かれ、悲しみは倍増、いた

被害者が叩かれる悲哀

わりの言葉ならともかく、SNSで顔は見えない、名前も勿論名乗らない。同調する者が後を絶たない。匿名をよいにこと善良者、被害者をおとしめる。投稿した者が突きとめられ刑事事件になり有罪判決もあった。重罪にしてほしいものです。

このように被害者がマスコミやSNSで叩かれたら立ち上がれない。騒がせたからと会社を解雇されたり辞職に追い込まれた人もいます。一度叩かれたら一般市民ほど立ち上れない。

プロ野球選手の賭博

オンラインカジノ賭博でプロ野球選手が、何千万もの損をした選手も、数年前からやっていた選手も。バクチはエスカレートする。ビットコインだの現金を張るのではないからどんなにつき込む。

先輩がやっていたからという選手もあり、自己申告だから申告しない選手、OBもいるのではなからうか。現在利用していたのは7球団14人、一番最初の選手は自宅待機。あとの13人はそれほど扱いをされなかったのだから不公

平な気もしますが、復帰した時ファンが温かく迎え声援を送ってくれてよかった。

野球賭博に手を出していなかったので書類送検ですんだ。野球賭博に関与したとして失格処分された一番新しいのは2015年。ネット犯罪によるものではないが元投手。

かつては黒い霧事件で一流選手が野球界から追放になった。

野球賭博はかつて甲子園の高校野球でも、その中の一人が大選手の義父。知己のスポーツ記者から聞いて驚いた。胴元の暴力団から、「記事にしたら手前の手や足はもとより家族がどうなるかと言われ恐ろしくなった」と。

メジャーでも大記録を持つピート・ローズ永く追放となっていたが、コミッショナーも代わり、すでに死亡しているところから資格回復となった。戦後日本でも追放された大選手が大阪球場開設に尽力した功績を認められ現役復帰し活躍した選手もいた。

ネット犯罪から横道にそれたが、ネット犯罪のないことを願っています。

(参考文献・日本更生保護協会 更生保護)